

「箕面市経営再生プログラム」のイメージ

現状と課題

社会経済の変化

- * 右肩上がり時代の利益調整型行政システムの終焉

危機的な財政状況

- * 市税収入・競艇事業収入の激減
- * 基金残高の減少と市債残高の上昇
- * 経常収支比率の急速な悪化(今後10年間は110%前後を推移)

大規模プロジェクトの見通し

地方分権の進展による業務量の増加

市民との協働の模索

- * 理念と現実のギャップ
- 職場モラルの低下

改革は道半ば: 現在進行中の行政改革を加速。さらに大胆な改革を進めることが必要

抜本的な自治体改革

箕面市の将来像(何をめざすのか)

第四次箕面市総合計画の推進

地方分権時代に求められる自治体像

- * 「箕面市ブランド」のさらなる向上をめざします

箕面市理念の実現

- * 成熟社会におけるより豊かな生き方の形成に貢献

これからの行政の姿、市民の姿

- * 健全なパートナーシップを構築し地域を支えます

箕面版NPMの推進

- * 小さな政府による豊かな行政を実現します

箕面版NPMの基本的な考え方

顧客志向: 「市民はお客様」

協働重視: 「市民のまちづくりをサポート」

成果志向: 「VFM(バリュー・フォー・マネー)徹底」

権限移譲: 「市民に接する場からの政策」

競争原理: 「活気のある市役所づくり」

改革の方向性(何をなすべきか)

構造改革: 小さな政府、顧客/成果志向の行政システムへ

歳出改革: 歳入に見合った適正規模の歳出へスリム化

意識改革: 競争原理を導入し加点主義人事へ転換

具体化

財政面の3つの目標

(H19における数値目標)

経常収支比率105%

財政規模360億円

基金残高110億円

11の改革処方箋

トップマネジメントの充実・強化

- * 横断的課題にはプロジェクト会議で対応

行政評価制度

- * 事業評価調書の公開、第三者機関の設置

箕面市アウトソーシング計画(MOS計画)

第2次箕面市職員定員適正化計画

外郭団体等の改革

- * 団体ごとに経営改革計画を策定

構造改革のための個別的政策課題

- * ライフプラザ群の機能強化(保健・医療・福祉の連携)
- * サンプラザ1号館活性化策の検討

公共施設配置構想(素案)の見直し

- * 施設整備を予定しない遊休地は売却

滞納整理の特別対策

受益者負担の適正化

- * 受益と負担のあり方を明確にし市民負担を公平化

人事・給与・研修制度改革

- * 公正な評価を処遇に反映
- * 長期的な視点からの人材育成
- * 給与・手当のカット等による人件費抑制

組織活性化の諸方策

- * 各職場におけるPDCAマネジメントサイクルの確立

改革期間

H14~H18

推進体制

政策総括監及び経営改革チーム(政策企画課、職員課、財政課、情報文書課)

市民が安心して暮らせる新しい自治体システムの確立